

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 14 日

事務事業名		妊婦・乳幼児健康教室事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	020103000338
		総合計画の施策名				単独/補助	単独	所属課	040401
		0201 健康づくりの推進				主要事業	対象外	健康推進課	
政策体系		政策名				市長マニフェスト	対象外		
		02 安心と安らぎのある健康福祉社会づくり				未来PJ事業	対象外	グループ	
		01 健康づくりの推進				合併建設計画事業	対象外	母子	
		03 母子の健康づくり							
		基本事業名							
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目		会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
		01	04	01	01	03	00	母子衛生事業	
								単年度繰返し (年度~)	
								← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
法令根拠		母子保健法							

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>①パパ・ママクラス：対象は初めて出産する夫婦。周知方法は個人通知。母子健康手帳交付時に「パパ・ママクラス」のちらし、健康カレンダー、広報、ホームページ等で参加のPRをしている。教室は年3回分妊予定日ごとに開催。実施は1日コースで午前9時45分から午後4時まで。内容は赤ちゃんのお風呂の入れ方、妊娠シュミレーション(夫に体験してもらう)、妊娠中の栄養、骨盤矯正についてである。</p> <p>②乳幼児健康教室(歯磨き教室)</p>	<p>パパ・ママクラス：事業内容の企画検討。対象者の抽出及び個別通知。当日の実施。</p> <p>実績報告書の作成。</p> <p>乳幼児健康教室(歯磨き教室)：認定こども園との共催</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
①パパ・ママ教室 ・対象者への個人通知 ・当日の運営(妊娠、出産に関する健康教育)	パパ・ママクラスの開催数	回	3.00	3.00	6.00	6.00	6.00
	歯磨き教室の開催回数	回	1.00	3.00	1.00	1.00	1.00
②乳幼児健康教室(はみがき教室) ・認定こども園、歯科衛生士との打ち合わせ ・当日の運営			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
パパ・ママクラス： 初妊婦と夫 乳幼児健康教室(歯磨き教室)： 認定こども園の年長児	初めて出産する夫婦	組	107.00	95.00	100.00	100.00	100.00
	認定こども園の年長児		0.00	123.00	125.00	125.00	125.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
妊娠・出産・育児等の知識を学ぶとともに、不安の軽減ができる。	パパ・ママクラスに参加し不安が解消できた人の割合	%	91.60	91.30	100.00	100.00	100.00
	育児不安の軽減が図れ、楽しんで子育てができる割合	%	85.84	91.50	95.00	95.00	95.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移		27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	期間限定 総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	15	18	15	15	0
	事業費計(A)	千円	15	18	15	15	0	15
人件費	正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人	3.00人	3.00人	
	述べ業務時間	時間	124.25	125.00	125.00	125.00	125.00	
	人件費計(B)	千円	360	363	363	363	370	
トータルコスト(A)+(B)		千円	375	381	378	378	370	

事業費の内訳	28年度事業費 実績(千円)			29年度事業費 予算(千円)		
	01 報酬	6		01 報酬	8	
	11 需用費	12		11 需用費	7	
		合計	18		合計	15

(4) 当該年度の実施内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 			

事務事業名	妊婦・乳幼児健康教室事業	事務事業No.	20103000338	所属課	健康推進課
-------	--------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	パパ・ママクラスについては、S41年に母子保健法が施行され、それに基づき、保健センター設置当時より妊婦を対象に開始し、現在に至る。育児方法や出産の情報の多様化に伴い内容も検討をかさね、夫の参加も取り入れた。H11年男女協働参画基本法が施行され、夫婦で子育てができる環境整備を図るようになった。乳幼児健康教室については、H22年度より子育て支援センターと協力して実施している。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	参加した妊婦より土・日の開催や妊娠時期(初期、中期、後期)に合わせ教室の運営をして欲しいと要望あり。また、参加医療機関によっては妊婦教室を行っていない所もあり、市の事業に参加できた事で、育児に勇気をもって取り組めると感想があった。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	開催回数・時間等参加者の意見を聞きながら内容等も含め検討していく
改革改善を行う	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 教室に参加することで、安心して妊娠・出産・育児ができるようになることは、子育て支援に結びついている。
目的妥当性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市で行うことで、参加者が妊娠・出産・育児についての知識を学ぶとともに、母親同士の交流や仲間づくりの機会にもなる。また、妊娠中から早期にかかわることで、虐待防止につながる。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 参加率を上げる必要がある。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 教室に参加することで妊婦や子育て中の保護者の交流の場となり、出産や育児に対する不安の軽減にもつながっている。また母親学級(パパ・ママ教室)を開催していない医療機関もあるので子育てへの影響がでる。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない パパ・ママ教室については、統廃合は難しい。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない パパ・ママ教室は雇いあげ助産師で1回1時間依頼しているのみであるので削減余地はない。また、健康教室は各関係機関の経費で実施しているため、効率的な人員で実施している。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 各教室対象者にはチラシ配布や、パパ・ママ教室については、対象者への通知をして周知している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 平成28年度のパパ・ママクラスは年3回、一日コースで実施していたが、参加者より時間が長く体力を使ってしまう、予定を空けるのが大変との声がかかれていたため半日コースへの変更を考える必要がある。実施内容に関しては、医療機関で実施されていない育児体験等ができる内容にしており、特に沐浴や助産師の講話は妊婦共に好評である。																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 平成29年度よりパパ・ママクラスを2コースに分け、半日ずつ6日間の開催とする。対象もママだけで参加しやすいコースも構成し、教室名もマタニティクラスへ変更する。変更後、教室毎にアンケートを行い、事業の見直し、改善を行っていく。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果																								
コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> A B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>